

## 日本小児歯科学会 九州地方会30周年にあたって

佐賀県代表幹事 一 瀬 暢 宏



九州地方会会員の皆様、日本小児歯科学会九州地方会30周年を迎えられるにあたり、佐賀小児歯科研究会からお祝い申し上げます。この30年という長い歴史を積み重ねてこられたのは、これまでの諸先輩の先生のご尽力がなければできなかったことと思います。

大学に入局すぐの当時の地方会の思い出は、懇親会で新入局員の紹介で他の大学より目立つ演し物をするかと悩んでいたことが懐かしく思い出されます。

さて、佐賀県は3歳半のう蝕歯数10年連続全国ワースト1という不名誉な記録や現在もワースト1と長年にわたり小児う蝕に悩まされてきました。このような状況で地域医療に貢献するという立場から研究会を立ち上げ、勉強会などを行って参りましたが、九州地方会で活躍される先生達は私たちのよき指針となってきました。これからの日本小児歯科学会九州地方会のますますのご発展をお祈り申し上げます。

---

## 九州地方会30周年にあたって

長崎県代表幹事 行 成 哲 弘



長年、長崎県代表幹事として活躍された田口知義先生から、平成24年度より私が幹事を引継ぎました。過去10年間、長崎県で開催された日本小児歯科学会九州地方会大会および総会は平成15年11月13日(木)に長崎小児歯科臨床医会の角町正勝先生を大会長として第21回が長崎県歯科医師会館で開催されました。平成19年11月25日(日)には同じく長崎県歯科医師会館で長崎大学大学院医歯薬学総合研究科・小児歯科学分野教授藤原卓先生を大会長として第25回が開催されました。そして昨年、平成24年10月28日(日)に長崎大学医学部良順会館、記念講堂で長崎小児歯科臨床医会の私、行成哲弘を大会長として開催した第30回は記憶に新しいことと思います。お気づきのように長崎県では小児歯科専門医10名、認定医2名が所属する長崎小児歯科臨床医会が藤原卓教授の長崎大学小児歯科と親密かつ良好な関係を保ち、交互に長崎で開催される九州地方会を担当してまいりました。毎月開かれる長崎小児歯科臨床医会の例会では長崎大学小児歯科からも積極的に出席していただき開業医、大学と良好な協力関係を築くことができています。その信頼関係が九州地方会運営に活かされましたし、日々の診療にも活かされています。全国小児歯科開業医会と時を同じく結成された長崎小児歯科開業医会も名前を長崎小児歯科臨床医会と改め、会員数21名を数えます。歴代の会長も初代角町正勝先生、樽美哲生先生、有田信一先生、そして平成21年からは私が勤めています。今後とも長崎をよろしくお願いいたします。